

令和4年度近畿地区里親研修会「はぐくむ喜び共に見つけよう！」開催概要

1. 趣 旨

近年グローバル化が著しく進み、ダイバーシティ（多様性）に注目が集まっている。2019年に起こった新型コロナウイルス感染症パンデミックはその傾向を加速させた。「個」の尊重、「自助」の強調の陰で、複合的な課題を抱える家庭がセイフティーネットからこぼれおちている現状が見られる。社会的養護にたどり着く子どもたちと、彼らの家庭の状況もまた個々で異なっている。

社会状況の変化の中で、社会的養護のもとにある子どもたちにどのような背景があるのかを知ることが、生活の場の提供、人間性の回復、心身の発達援助を行いつつケアラーとして彼らと関わる里親にとって、問題解決のためのヒントとなり得るに相違ないと考えた。

上記に基づいて本研修会では「**里親委託される子どもたちの背景を知り、子どもの養育についての実際を学ぶ**」ことに主眼を置く。近畿地区の里親及び関係者が集うこの研修会で、多角的な視点を得つつ研鑽を深め、経験交流を通じ各自がエンパワメントされること、そのことにより社会的養護/養育を必要とする子どもを里親として「**はぐくむ**」喜びを共に見つけ、子どもたちの幸せと里親制度の将来的発展に寄与することを目的とする。

2. 日 時 令和4年6月19日（日）10：30～15：30 及び

*オンライン配信期間（講演部分）：6月25日（土）13：00～7月3日（日）19：00

3. 会 場 京都市生涯学習センター（京都アスニー）

〒604-8401 京都市中京区聚楽廻松下町9-2（京都市中京区丸太町通七本松西入）

075-802-3141

※最寄駅 JR 嵯峨野線「二条」または「円町」、市バス、JRバス「七本松丸太町」

4. 内 容

9：30～ 受付開始

10：00 開会式

10：30 基調講演 「要支援家庭に対する理解とアプローチ

～里親委託される児童の背景を見つめはぐくみの大切さを学ぶ～」

*後日配信あり

講 師： 川崎二三彦氏（子どもの虹情報研修センター長）

12：00 昼食休憩 *昼食は各自で準備

13：00 分科会

第1分科会 「社会的養護の子どもの発達課題と精神ケア

～思春期を共に迎え、共に乗り越えるために～」

（定員100名）*後日配信あり

講 師： 定本ゆきこ氏（京都少年鑑別所医務課長、精神科医師）

第2分科会 「特別養子縁組の今、そして『ほんとう』の真実告知ってなに？」

(定員 60 名) *後日配信なし

講 師：岩崎美枝子氏 (公益社団法人家庭養護促進協会理事)

第3分科会 『『それって、だれのせいでもごさいません!』

乳幼児期から学童期の子どもたちへの対応』

(定員 40 名) *後日配信なし

講 師：社会福祉法人積慶園

きょうと里親支援・ショートステイ事業拠点 ほっとはぐ

武田 由 (臨床発達心理士・公認心理師)

藪下聡美 (里親ソーシャルワーカー, 保育士)

15:00 休憩 (移動)

15:15 閉会式

15:30 閉会

※基調講演並びに各分科会の内容概要については別紙参照のこと

5. 参加者 約 200 名 (会場参加) ※オンライン参加は上限なし
近畿 2 府 4 県 4 政令指定都市の各里親会会員と関係者

6. 主催者 公益財団法人 全国里親会
近畿地区里親連絡協議会
京都市里親会

7. 後 援 京都市

8. 協 力 京都市児童養護施設長会里親支援連絡会
社会福祉法人積慶園 京都市里親サポートセンター青い鳥

9. 参加費 本会場参加者 2,000 円、オンライン配信視聴者 2,000 円 ※1 名当たり
※新型コロナウイルス感染症対策のため、昼食は各自で用意することとする。
会場内に飲食可能な部屋あり。

10. その他

- ・ 6 月 1 日 (水) 以降, 京都市内に緊急事態宣言が発令された場合は, オンライン配信のみとさせていただきます。
- ・ 当日は, 配信および記録のため撮影をさせていただきます。配信は, 個人の特定ができないようにいたしますのでご了承ください。

令和4年度近畿地区里親研修会「はぐくむ喜び共に見つけよう！」内容概要

【基調講演】（配信あり）

タイトル：要支援家庭に対する理解とアプローチ

～里親委託される児童の背景をみつめはぐくみの大切さを学ぶ～

講師：川崎二三彦氏（子どもの虹情報研修センター長）

今回の研修会では、委託される児童の背景について知識を得、理解を深めた上で、実際の養育に活かす実践的なスキルを学ぶことを目標とするものである。

基調講演部分では、子どもと家庭をとりまく社会構造上の問題を鋭く映し出している「里親委託される児童の背景」に目を向ける。それを通して見えてくるものを私たち里親がどのように受けとめ、どのように答えていくかは今取り掛かるべき大きな課題である。

この課題に対応するため、第一線の専門的援助者を養成し、また高度専門情報を集約・発信する拠点として設立された「子どもの虹情報研修センター」センター長である川崎二三彦氏に、現代社会の中で子どもたちが置かれている家庭環境、社会的課題について講演いただく。その理解をもって子ども自身が抱えている心の重荷に寄り添うための素地を作りたい。

【第1分科会】（配信あり）

タイトル：社会的養護の子どもの発達課題と精神ケア

～思春期を共に迎え、共に乗り越えるために～

講師：定本ゆきこ氏（京都少年鑑別所医務課長、精神科医師）

子どもが見せる問題行動には必ず背景がある。それを捉えようとする里親の姿勢や声掛けが、子どもへの支えや事態好転のきっかけになることを信じ、特に難しいと言われる「思春期」にスポットを当てる。

少年鑑別所で児童精神科医として長年さまざまな問題行動を起こす子どもたちに関わってこられた定本ゆきこ氏に、医学的見地に基づき問題行動を起こす子どもの発達課題と彼らの精神ケアのために必要な知識や視点を講演いただく。里親自身が思春期の子どもたちの背景を理解し、ケアラーとしての対応方法を知り、養育の在り方を自ら考え、また、分科会の参加者同士が励まし合う機会としたい。

【第2分科会】（配信なし）

タイトル：特別養子縁組の今、そして『ほんとう』の真実告知ってなに？

講師：岩崎美枝子氏（公益財団法人家庭養護促進協会理事）

体験発表：京都市里親会会員

特別養子縁組を希望する里親、養子縁組里親を対象に、子どもの成育状況やタイミングなど不確定要素が多いがゆえに不安を感じる人が多い「真実告知」について改めて捉え直す。

家庭養護促進協会では数多くの特別養子縁組、養子縁組の里親子の縁を結び、見守り続けてきた岩崎美枝子氏を講師に迎え、真実告知の意味、事実告知との違い、真実告知の伝え方など基本、「真実告知」を巡る変遷や多くの事例を提示いただく。同時に子育ての困難、楽しさ、喜びも含めた真実告知の経験を体験発表者と分かち合う。それを通じて参加者がヒントを得ることを願うものである。

【第3分科会】（配信なし）

タイトル：「それって、だれのせいでもありません！」

～乳幼児期から学童期の子どもたちへの対応～

講師：社会福祉法人積慶園 きょうと里親支援・ショートステイ事業拠点ほっとはぐ

武田 由（臨床心理士、公認心理師）、藪下聡美（保育士）

子どもの人生の途中からともに生きることを選択した＜中途養育＞の大変さは、私たち里親のだれもが感じていることだろう。人の子育てが誰の助けもなしにできるものではないように、里親養育においても、地域社会のさまざまな人との繋がりの中で、ともに悩み、ともに学びながら取り組む必要がある。

当分科会では、社会的養護を必要とする子どもたちが里親と出会うまでに感じてきたこと、体験したことへの理解と対応について学ぶことを目指す。特に乳幼児期から学童期までの子どもの養育に奮闘する里親、子どもとの出会いを待つ里親、里親さんを応援する支援者がワークショップを通じて気づきや学びをシェアし、エンパワメントされる機会にしたい。

以上

京都市生涯学習総合センター（京都アスニー）

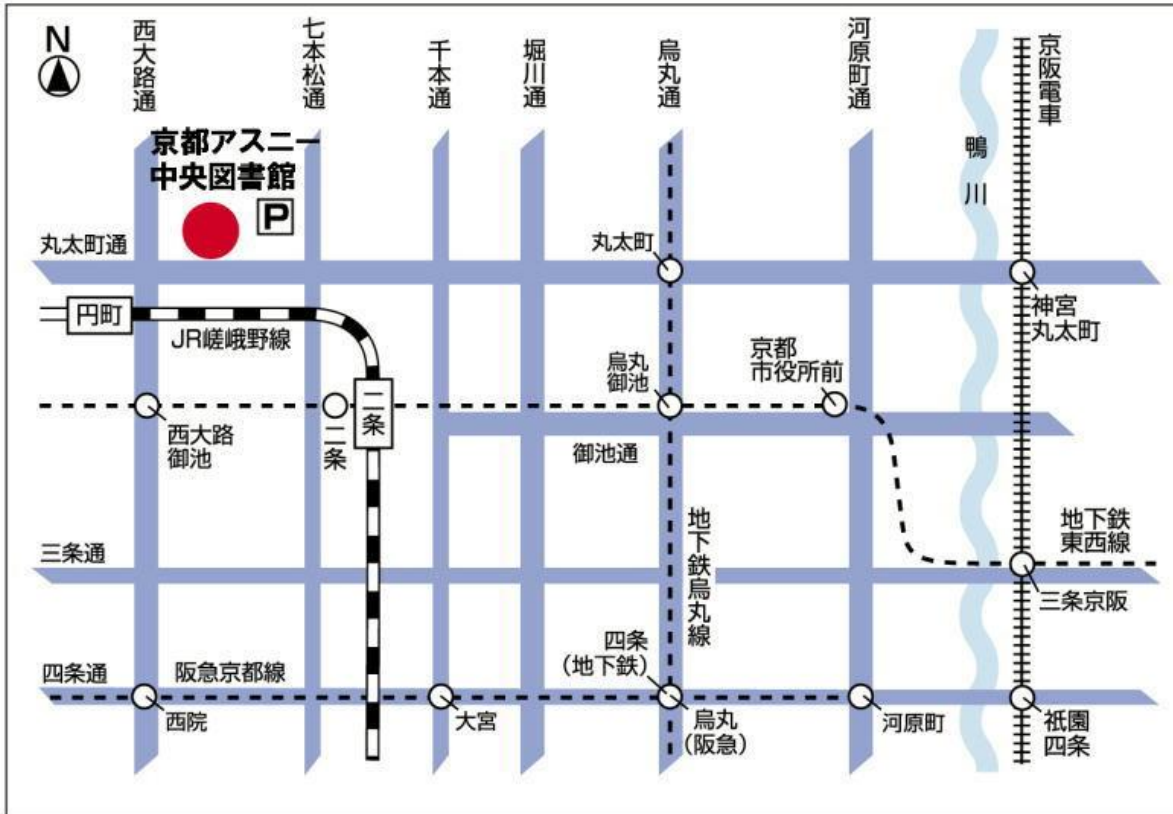
所在地：〒604-8401 京都市中京区聚楽廻松下町 9-2

（京都市中京区丸太町通七本松西入）

電話番号：075-802-3141（代表）



京都アスニーHP



※（ ）に記載されている分数は昼間の所要時間です。乗換時間は含みません。

○JR・近鉄京都駅から

市バス 206 千本丸太町下車（約 23 分）西へ徒歩 400m

JR バス 丸太町七本松下車すぐ（約 18 分）

○JR・京都市営地下鉄東西線二条駅から

※JR 改札口、地下鉄 1 番出口から徒歩で約 16 分です。

市バス 15・52 丸太町七本松下車すぐ（約 4 分）

市バス 6・46・55・201・206 千本丸太町下車（約 3 分）西へ徒歩 400m

JR バス 丸太町七本松下車すぐ（約 3 分）

○阪急大宮駅から

市バス 52 丸太町七本松下車 (約 9 分)

市バス 6・46・55・201・206 千本丸太町下車 (約 8 分) 西へ徒歩 400m

JR バス 丸太町七本松下車 (約 7 分)

○阪急西院駅から

市バス 202 丸太町七本松下車 (約 10 分)

○京都市営地下鉄烏丸線丸太町駅から

市バス 93・202・204 丸太町七本松下車 (約 9 分)

○京阪三条駅から

市バス 15 丸太町七本松下車 (約 20 分)

京都バス 62・63・65・66 丸太町七本松下車 (約 19 分)

○京阪神宮丸太町駅から

市バス 93・202・204 丸太町七本松下車 (約 16 分)

○JR 山陰線円町駅から

市バス 15・93・202・204 丸太町七本松下車 (約 3 分)

京都バス 62・63・65・66 丸太町七本松下車 (約 3 分)

JR バス 丸太町七本松下車 (約 3 分)

※京都市交通局スマートフォン・タブレット用

京都市バス・地下鉄ガイドのページはこちら



○自家用車でのご来館 (駐車場、約 60 台)

施設利用者 30分 200円

※京都アスニー1階事務所に駐車券をご持参のうえ、館内利用手続きしていただくと
30分あたり100円の割引をうけることができます。

※公共交通機関をご利用いただきますようご協力をお願いいたします